

(仮称)葛飾区地域公共交通計画の策定について

1. **【報告事項】**
地域公共交通計画の策定について (P 1 ~ P 5)
2. **【協議事項】**
(仮称) 葛飾区地域公共交通計画 骨子案について (P 6 ~ P 24)

1. **【報告事項】**
地域公共交通計画の策定について

1. 【報告事項】 地域公共交通計画の策定について

(1) 地域公共交通計画について

地域公共交通計画は、その自治体における「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明確に位置付けた、地域公共交通のマスタープラン（ビジョン＋施策体系を示すもの）となる計画であり、自治体を中心となり、交通事業者や住民等の地域の関係者を集めて協議を重ね作成していく計画です。

地域公共交通計画は、地域の社会・経済の基盤となるものであり、令和2年11月の地域交通法改正で、計画の作成が自治体の「努力義務」として定められています。

【基本構成（例）】	【法定記載事項】
①基本的な方針 ・課題の洗い出しの結果 ・地域交通が目指す姿 ・計画目標	・地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針 ・計画の目標
②計画区域、計画期間	・計画の区域 ・計画期間
③施策・事業 ・施策の内容・実施主体・実施スケジュール	・目標達成のために行う事業及び実施主体
④KPI ・評価指標、目標値	・計画の達成状況の評価に関する事項
⑤PDCAスケジュール ・評価体制・評価スケジュール	

参考資料

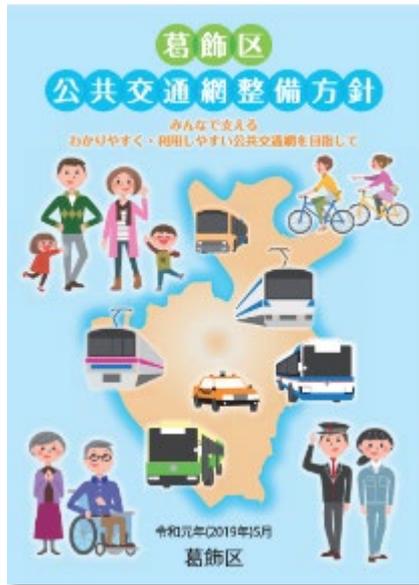
・地域の現状等 ・上位・関連計画の整理 ・自己評価シート

出典：地域公共交通計画等の作成と運用のための手引き 第4版（令和5年10月 国土交通省作成）
地域公共交通計画の「アップデートガイダンス Ver. 1.0」（令和7年3月 国土交通省作成）

1. 【報告事項】 地域公共交通計画の策定について

(1) 地域公共交通計画について

本区では、区の公共交通網の整備方針とその取り組みを定めた、『葛飾区公共交通網整備方針』（令和元年度～令和10年度）を策定していますが、現状データや公共交通を取り巻く環境の変化等を踏まえて、新たに地域公共交通計画の策定を行います。



■現状データ

- 地域特性（人口分布、施設立地等）
- 移動特性（外出先、外出頻度等）
- 公共交通の現状（利用状況等）など

■交通を取り巻く環境の変化

- まちづくりの変化
- バス運転手不足
- デジタル技術の進展 など

(仮称) 葛飾区
地域公共交通計画
(令和8年～
令和12年)

1. 【報告事項】 地域公共交通計画の策定について

(2) 第1回活性化協議会（2月3日）における報告事項 及び頂いたご意見

項目	報告内容
地域及び交通の現状分析	<ul style="list-style-type: none">・ <u>本区の地域特性の現況分析結果</u> 本区の人口動向について、地区別、年齢別、人口別（人口分布、将来推計など）の整理等・ <u>本区の交通の現状分析結果</u> 各公共交通の運行状況、利用状況の整理等
公共交通に関するニーズ調査	<ul style="list-style-type: none">・ <u>バス・タクシー事業者へのヒアリング調査結果</u> サービス提供側が抱える課題や本区の地域公共交通計画に求める要望等
葛飾区公共交通網整備方針の評価・検証	<ul style="list-style-type: none">・ <u>現方針に位置付けられた施策・事業の実施状況及び取組評価、地域公共交通計画への反映の有無</u> 各担当課からの情報収集および取りまとめ

委員からのご意見

- ・ ほかの自治体では、計画で交通空白を埋めていく施策を考えているが、葛飾区にも交通空白地域はあるか。
⇒現方針において、物理的な距離での不便地域は抽出しているが、ニーズ調査の結果から区全体の意見等との大きな差異が見受けられなかったため、交通不便地域とはしていない。（事務局回答）
- ・ 平坦な地形から自転車利用率が高いため、バス路線の運休がある中でも、その点は恵まれていると考える。
- ・ 舟運について、海外での活用事例もあるため、前向きに検討していただきたい。

1. 【報告事項】 地域公共交通計画の策定について

(3) 第2回活性化協議会（7月30日）の協議事項

	項目	協議内容
協議事項	計画の骨子案	・ 現状分析やニーズ調査等の結果を踏まえ、本区の公共交通を取り巻く課題や計画の目標などの計画骨子案について協議を行う。

(4) 今後の本協議会において報告・協議予定の項目など

回数	項目	報告・協議予定の内容
8月頃	施策の提案・意見募集	・ 計画に位置付ける施策の内容について、事業者である委員・庁内関連部局からの提案や意見を募集、調整を行う。
第3回 (10月頃)	策定素案について	・ 現況分析やニーズ調査などで整理した課題や、本協議会でのこれまでの協議を踏まえ、実施施策や評価指標（KPI）等を盛り込んだ策定素案の協議を行う。
11月頃	策定素案の調整	・ 第3回協議会での意見等を踏まえ、パブリックコメントに付す策定素案について、関係する委員と事務局間で調整を行う。 (意見等の状況により、協議会を书面開催する場合あり)
11~12月頃	策定素案に対する意見募集	・ 広く区民の声が反映された計画とするべく、パブリックコメント及びオープンハウス等を実施し、策定素案に対する区民意見を収集する。
第4回 (令和8年 3月頃)	策定案について	・ 策定素案に対する区民意見募集結果の報告を行うとともに、本協議会でのこれまでの協議を踏まえ、策定案の協議を行う。

2. 【協議事項】（仮称）葛飾区地域公共交通計画 骨子案について

区民・利用者アンケートから見た現況・課題

○時刻表やルートの分かりにくさ、運行本数が路線バス利用の障壁

- ・区内の路線バスは、幹線道路を中心に全域に路線網が存在し、主要な移動手段として機能しています。
- ・区民アンケートにおける路線バス利用者の総合満足度は「とても満足」「やや満足」を合わせて46%で、満足度は高くなっています。
- ・一方で、路線バスを利用しない人に理由を尋ねる設問では、他の移動手段がある以外の理由では「本数が少なく、予定に合わないから」（13.5%）「時刻表やルートが分かりにくいから」（10.9%）との回答が一定程度みられ、鉄道と比較すると情報が入手しづらい時刻表やルート、運行本数の少なさが利用の障壁となっています。

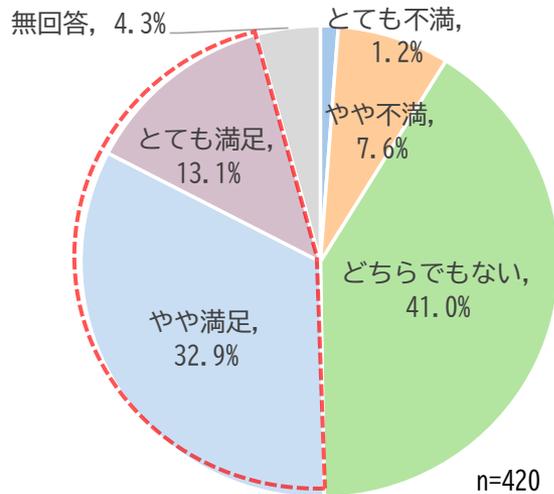


図 路線バス利用者の総合満足度 (区民アンケートより)

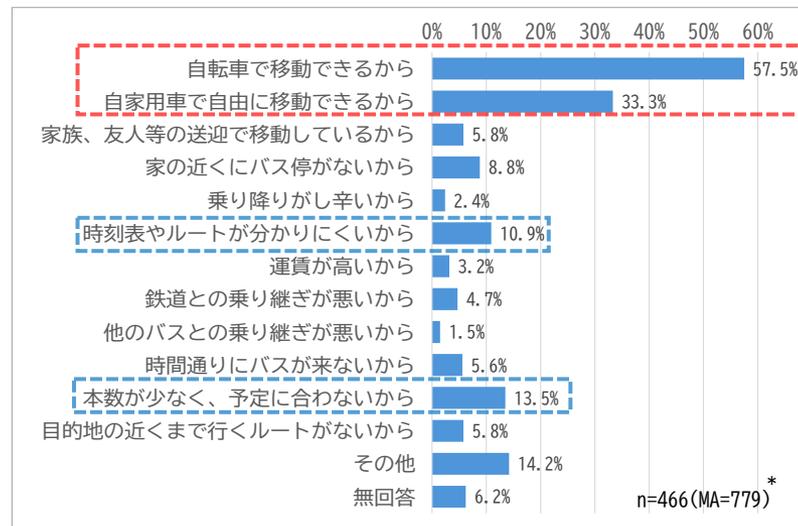


図 路線バスを利用しない理由 (区民アンケートより)

*複数回答のため、nは回答者の人数、MAは全体の回答数。割合はnに対する数値

区民・利用者アンケートから見た現況・課題

○きめ細かなバス路線や、定時運行を重視する傾向

- ・区民アンケートにおける、今後の公共交通施策に求める方向性では、「バスルートを検討し、利用できる地域を増やす」（33.6%）「時間通りに運行されるよう走行環境の改善を進める」（24.9%）などの意見が多く、きめ細やかなバス路線や、定時運行を重視する傾向があります。

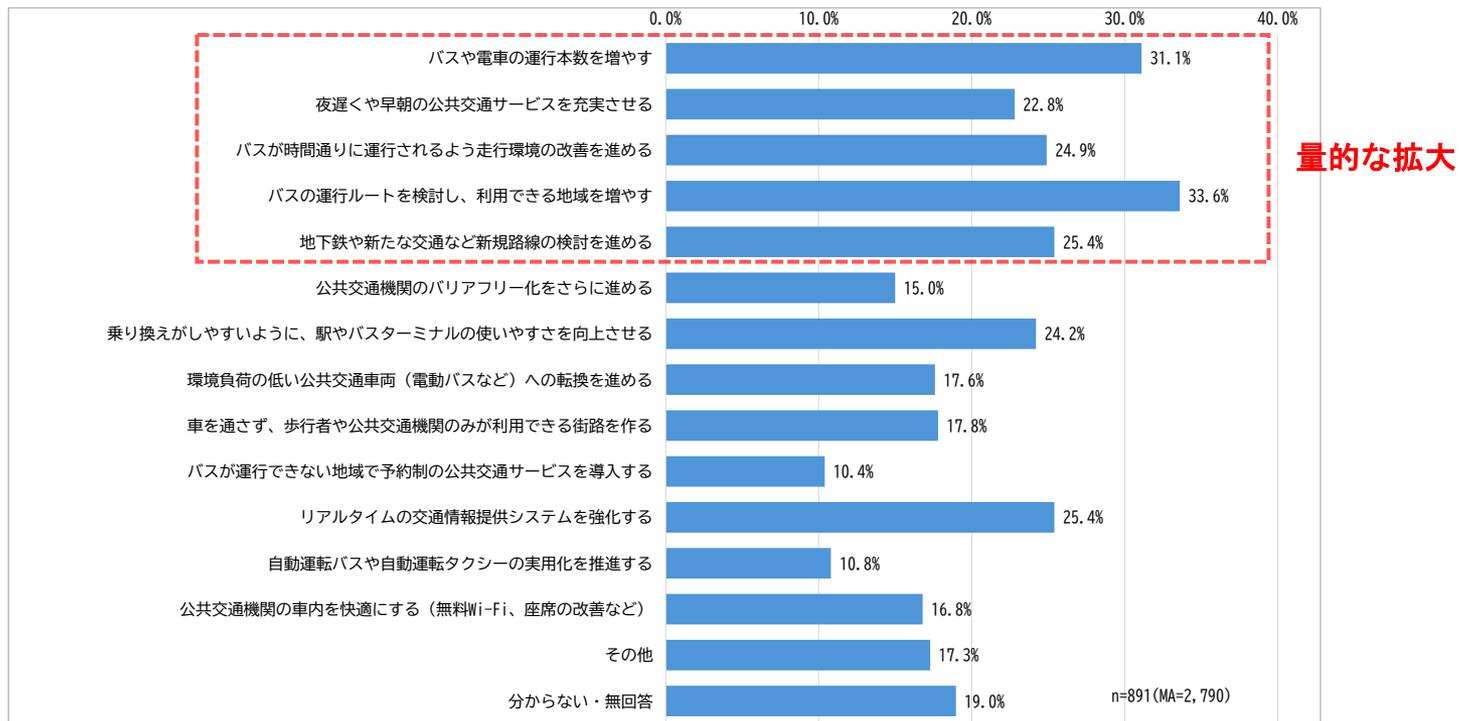


図 今後の公共交通施策の方向性（区民アンケートより）

区民・利用者アンケートから見た現況・課題

- 駅周辺の駐輪場拡充の要望
- 鉄道と他の交通機関との乗り継ぎ改善の要望

・ 区民アンケートにおける「鉄道の利便性・快適性向上策」の回答では、「駅周辺の駐輪場拡充の要望」（21.2%）「ほかの交通機関との乗り継ぎ改善」（16.3%）など、他の移動手段との連携の要望が多い傾向にあります。

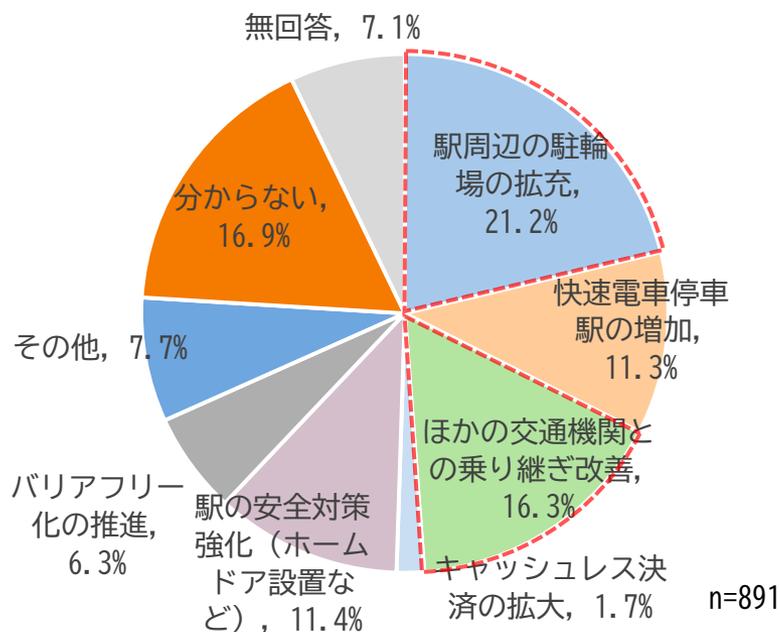


図 鉄道の利便性・快適性向上策（区民アンケートより）

区民・利用者アンケートから見た現況・課題

○運賃がタクシー利用の障壁

- ・ タクシーは、ドアツードアで移動することができ、高齢者や障がい者などの「交通弱者」と呼ばれる方々や、バスのルート上にない地域の住民にとって、面的な公共交通として必要不可欠の存在です。
- ・ 区民アンケートにおける、タクシーを利用しない理由の第2位は「運賃が高いから」（39.7%）となっており、他の交通手段と比較するとやや運賃が割高であることが、タクシー利用の障壁になっています。

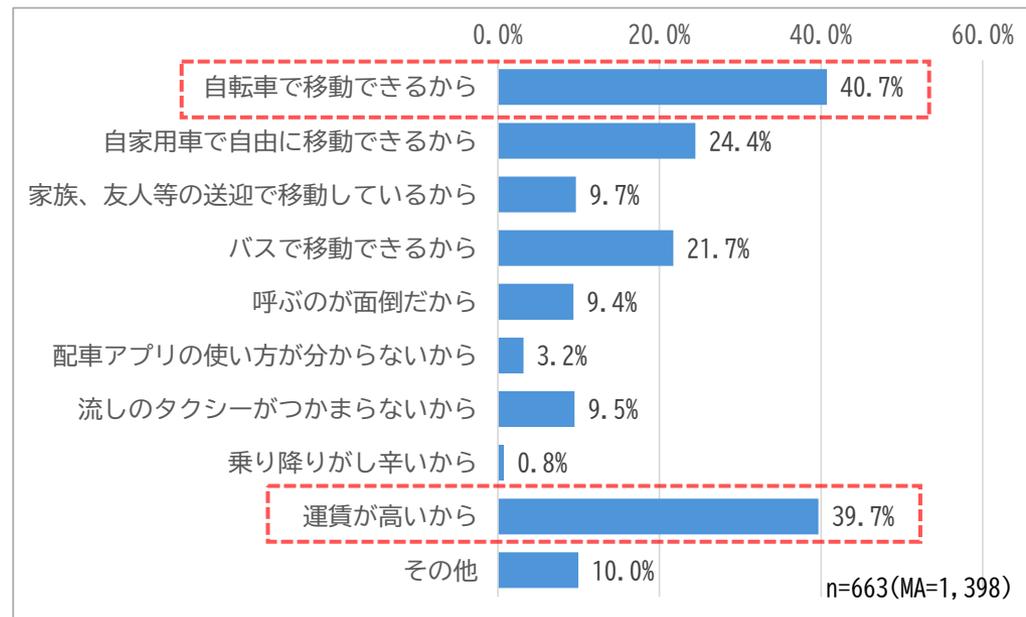


図 タクシーを利用しない理由（区民アンケートより）

区民・利用者アンケートから見た現況・課題

- バス事業者の運転手不足に向けた支援を求める要望
- リアルタイムの情報提供強化の要望

・区民アンケートにおける、「区の公共交通施策でこれまで以上に推進すべき取組」では、「バス事業者の運転手不足に対する支援」（33.0%）「運行情報表示機の設置やわかりやすい路線図の作成などの情報提供」（31.5%）などが多くなっています。運転手不足への対応に関心が高まっているほか、リアルタイム情報提供を強化する要望が多い状況です。

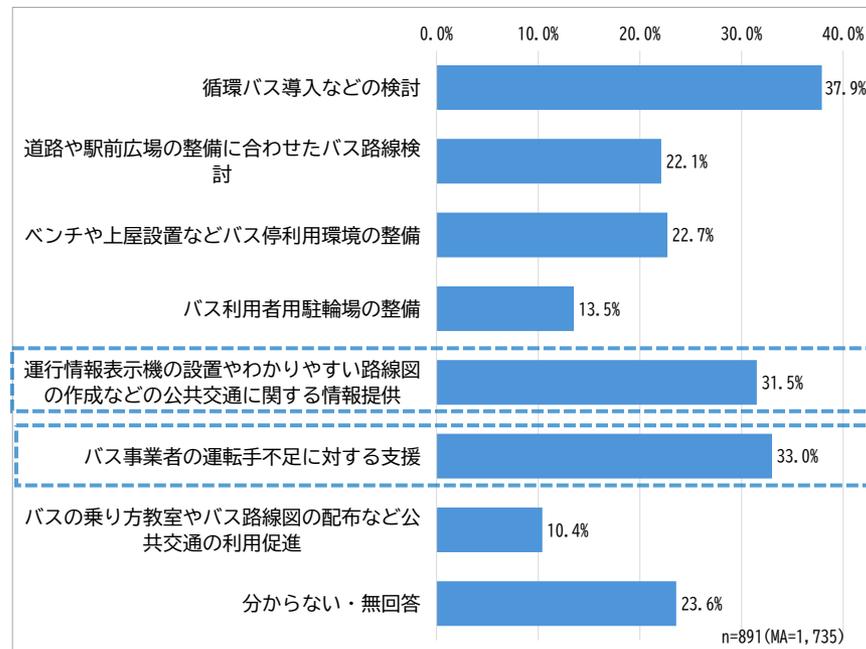


図 区の施策でこれまで以上に推進すべき取組（区民アンケートより）

公共交通とまちづくりの視点から見た現況・課題

○南北方向の鉄道が不足・路線バスが幹線交通として機能

- ・ 本区の鉄道路線は東西方向に結ぶ路線が多く、新金線（貨物線）の旅客化検討が進められているものの、現状においては南北方向の移動ニーズは路線バスが中心に担っています。
- ・ 南北の鉄道駅間や幹線道路を結ぶバス路線では、1日100本以上運行されている路線をはじめ、高頻度で運行されている路線が多く、幹線交通としての機能を果たしています。
- ・ 今後のまちづくりを進める上でも、南北交通の強化は重要な視点です。

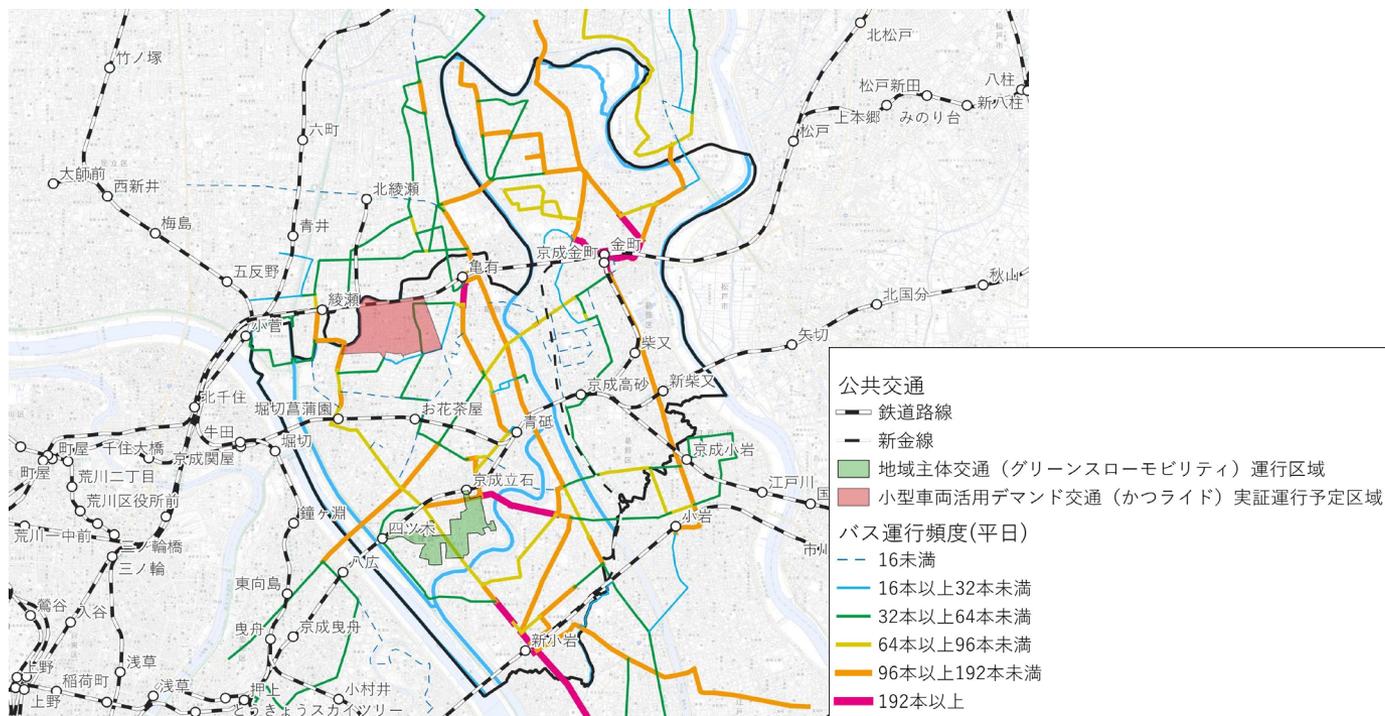


図 路線バスの運行頻度図

公共交通とまちづくりの視点から見た現況・課題

○平坦な地形から、多くの区民が自転車を利用

- ・本区は、平坦な地域から、自転車での移動がしやすい環境にあります。
- ・交通手段分担率を見ると、区内の移動では「徒歩」（41.5%）に次いで「自転車」（40.1%）が高く、広域以外の移動においては、多くの区民が自転車を利用しています。
- ・区民アンケートでも、自由に使える乗り物として自転車（73.4%）の回答が多くなっており、自転車との共存・連携を前提とした計画の検討が必要です。

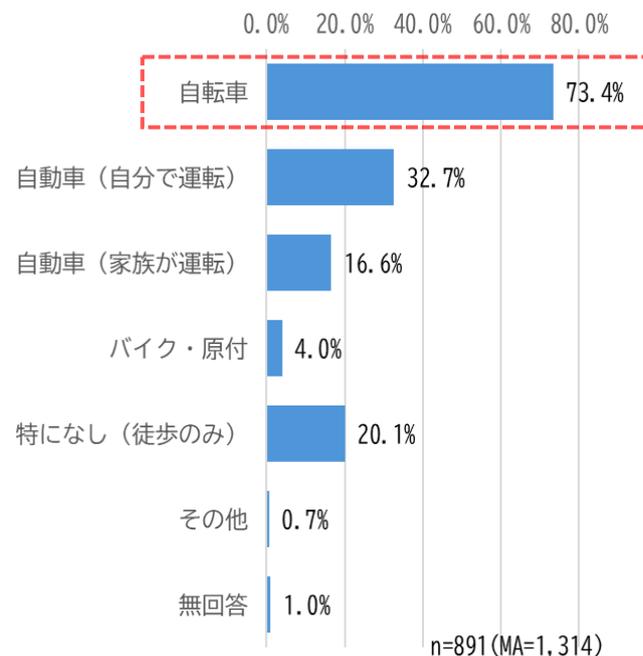
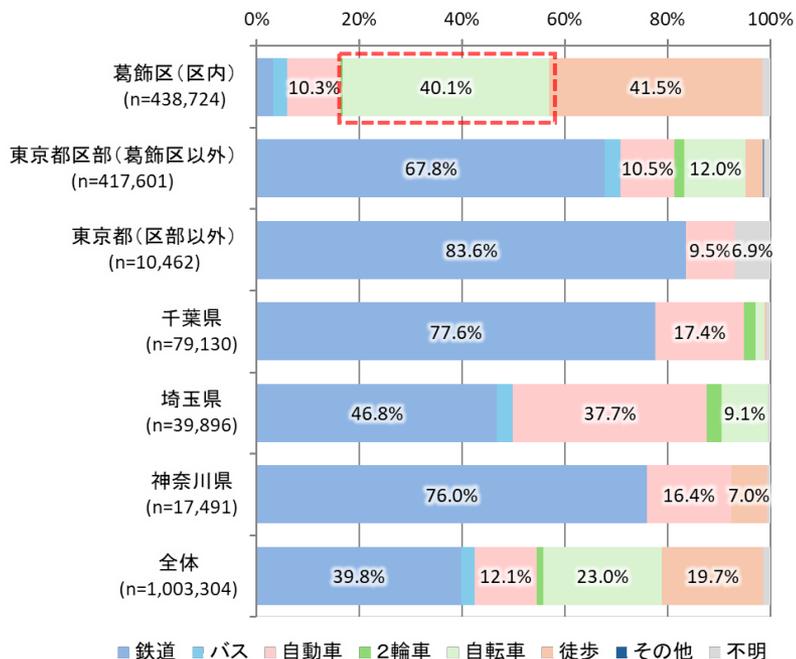


図 交通手段分担率*（平成30年パーソントリップ調査）

図 自由に使える乗り物（区民アンケートより）

*交通手段分担率・・・発地または着地を葛飾区とする全交通手段のトリップに占める移動手段の割合

公共交通とまちづくりの視点から見た現況・課題

○新小岩、金町、立石の3駅周辺で再開発が進行

- ・新小岩駅、金町駅、京成立石駅周辺では、大規模な再開発事業が進行しています。
- ・京成立石駅周辺が新たな交通結節点として整備される予定があるなど、公共交通とまちづくりが相互に連携し、検討・整備を進める必要があります。



図 再開発計画案（新小岩駅）



図 再開発計画案（金町駅）



図 再開発計画案（京成立石駅）

公共交通とまちづくりの視点から見た現況・課題

- 都市計画道路の整備率（71.5%）
- 自転車通行空間の整備状況（区道）（約20km）

- ・整備済の都市計画道路は、路線バスの主要な運行ルートとなっているほか、自転車通行空間についても、整備が進められています。
- ・今後も整備進捗に合わせた公共交通のルート検討などの連携や、特に自転車利用が多い状況にあることから、交通安全の観点からの空間整備や公共交通との共存の工夫が必要です。

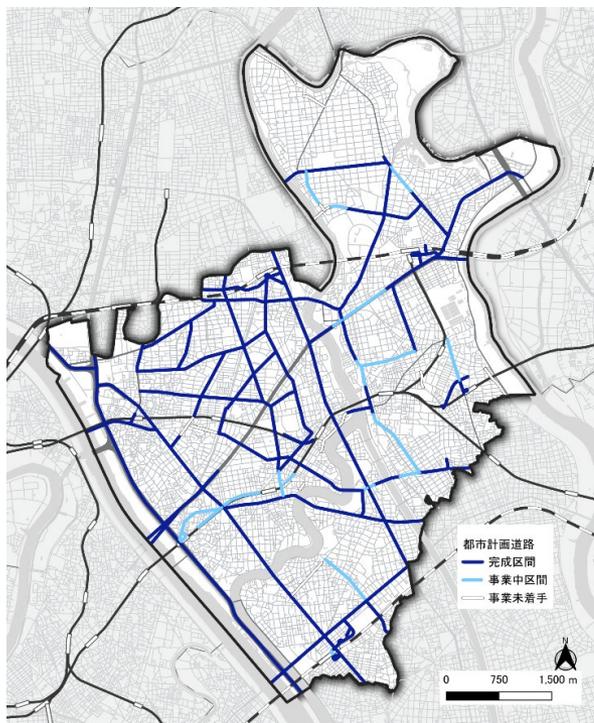


図 都市計画道路



図 サイクル&バスライド
（バス利用者用駐輪場）



図 都市計画道路における自転車通行空間

公共交通とまちづくりの視点から見た現況・課題

○シェアサイクルポートの設置（公共施設11か所、民間施設99か所）

- ・区では、令和9年まで「葛飾区シェアサイクル事業」社会実験を実施しており、シェアサイクル事業者と連携したサイクルポートの拡大を進めています。
- ・鉄道駅周辺や、運行頻度の高いバス路線周辺にシェアサイクルポートが設置されています。
- ・一方で、公共施設への設置が進んでいない状況があり、地域の移動ニーズに応じたポートの配置拡充が必要となっています。

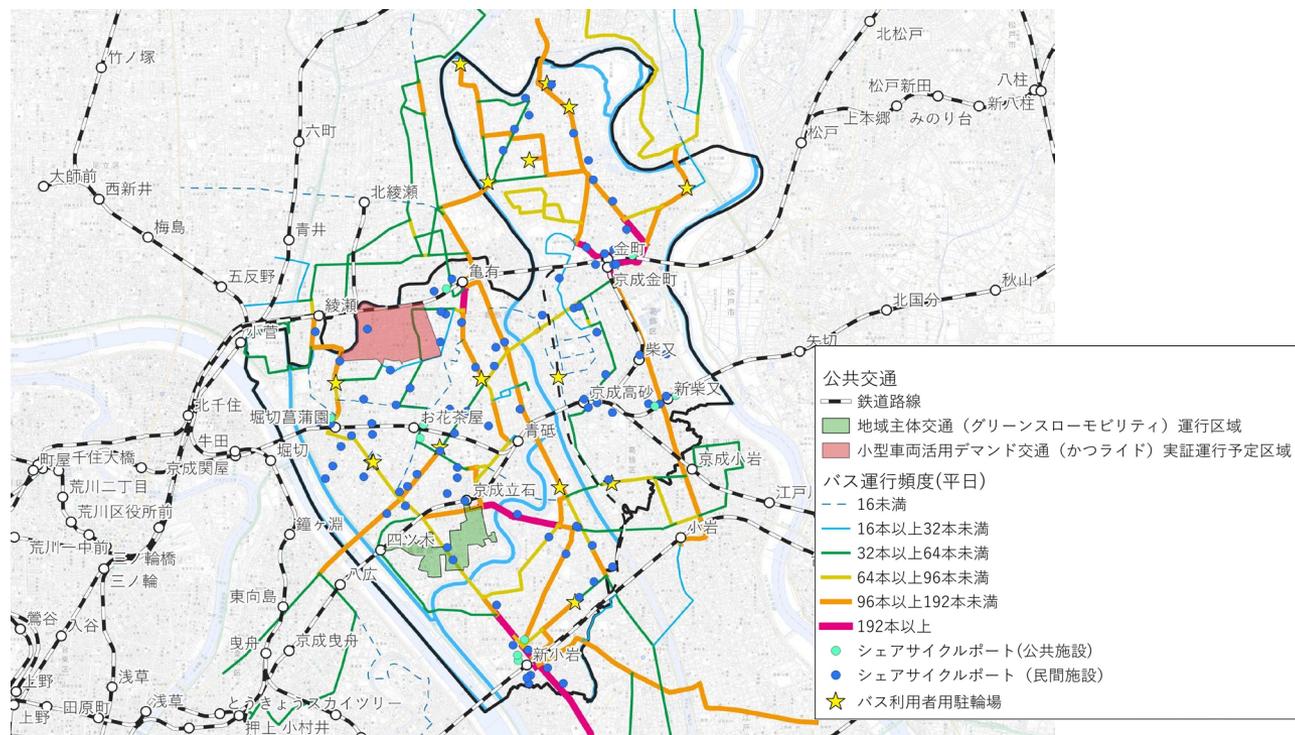


図 シェアサイクルポート・バス利用者用駐輪場

公共交通とまちづくりの視点から見た現況・課題

○若年層人口が増加傾向、将来的な高齢化の進展

- ・ 令和3年～令和7年の年齢別の人口推移を見ると、10～30代の人口が増加しているなど、若年層人口が増加傾向にあります。
- ・ 区の基本計画における将来人口推計では、0～64歳の割合が減少し、65歳以上の高齢者の割合が増加することが見込まれています。
- ・ 若年層の移動ニーズへの対応や、公共交通利用の普及啓発が重要となるほか、将来的には、高齢者の移動支援の重要性がますます高まることが予想されます。

年齢	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	R7-R3
10歳未満	35,171	34,302	33,551	32,778	32,217	▲ 2,954
10～19	36,484	36,128	36,161	36,588	36,989	505
20～29	55,684	55,586	57,706	59,904	61,508	5,824
30～39	59,350	58,428	58,479	58,895	59,900	550
40～49	71,188	69,295	67,422	65,675	64,187	▲ 7,001
50～59	66,646	68,832	70,785	72,508	73,449	6,803
60～69	49,759	49,460	49,775	50,530	51,824	2,065
70～79	51,667	51,003	50,214	49,017	48,302	▲ 3,365
80歳以上	37,742	39,049	40,082	41,105	41,540	3,798
総計	463,691	462,083	464,175	467,000	469,916	6,225

図 年齢別人口の推移 (令和3年～令和7年)

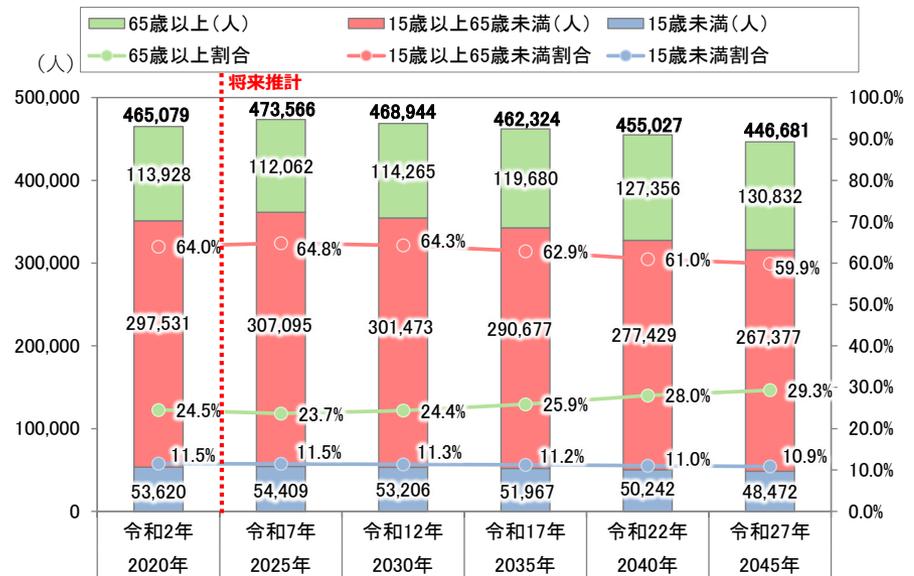


図 将来人口推計 (葛飾区基本計画より)

公共交通とまちづくりの視点から見た現況・課題

○外国人人口が増加傾向、インバウンド対応の必要性

- ・令和3年～令和7年の外国人人口の推移を見ると、増加傾向にあります。
- ・「こち亀」や「キャプテン翼」といった漫画・アニメにゆかりのあるスポットも多く、外国人観光客の来訪も増えつつあります。
- ・こうした背景から、運行情報や乗り場案内等の多言語化対応、案内サインの工夫などの必要性が高まっています。

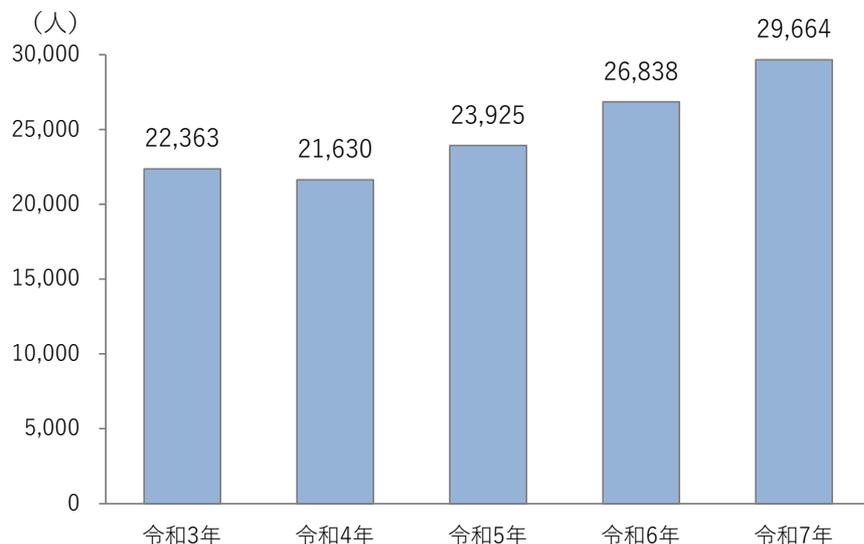


図 区内の外国人人口の推移（住民基本台帳）

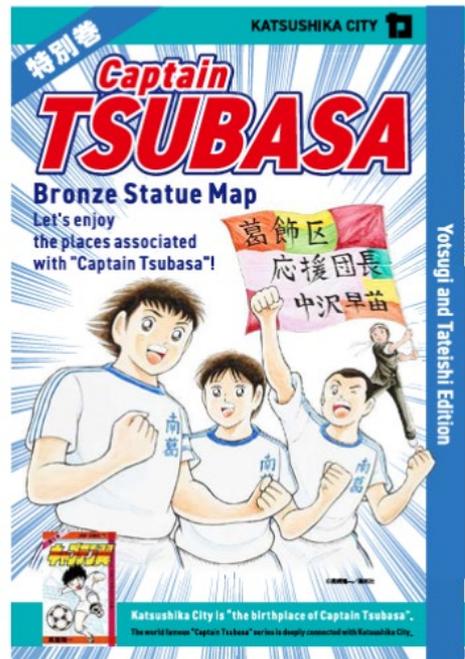


図 キャプテン翼銅像めぐりマップ（英語版）

社会情勢から見た現況・課題

○バス利用者数の減少・路線バス事業者の乗務員不足による減便

- ・区内の路線バス利用者数は、新型コロナの影響を受け大幅に減少した後は、回復傾向にありますが、減便やリモートワークの普及などの影響もあり、令和元年度以前の水準には戻っていません。
- ・いわゆる「2024年問題*」（改善基準告示への対応）や、業界全体での乗務員不足の影響により、減便が発生している事業者があります。
- ・バス事業者ヒアリングでは、全ての事業者から「乗務員不足」が課題に挙げられています。

*2024年問題（改善基準告示）・・・「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」の改正（令和6年4月1日からの適用）により、1日の最大拘束時間の上限15時間と、拘束時間の後の休息時間の下限9時間が定められたことに起因する、輸送業界全体でのドライバー不足の諸問題

表 2024年問題を要因とする路線の減便状況（令和6年8月時点）
（令和6年10月18日開催 第4回葛飾区地域公共交通会議資料）

事業者	減便状況
東京都交通局 （都営バス）	なし （平日365便、土休日650便）
京成バス株式会社	平日1,401便→1,304便 土日祝1,116便→1,030便
京成バス東京株式会社	平日511便→510便 ※経路変更によるもの （土日祝461便）
東武バスセントラル株式会社	平日404便→366便 土日祝364便→328便
日立自動車交通株式会社	地域乗合ワゴンさくらを除く 区内運行路線（3系統）運休
マイスカイ交通株式会社	なし ※新型コロナ、運転手不足により過年度に減便

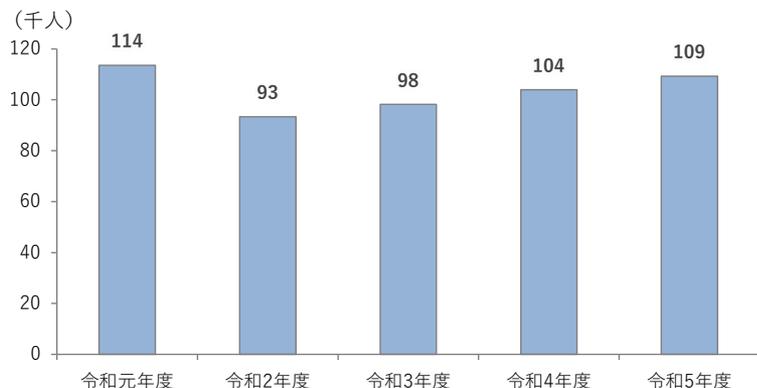


図 区内の路線バス利用者数（各事業者提供・参考値）

社会情勢から見た現況・課題

○庁内アンケートで各部局から寄せられた意見等

- ・地域公共交通計画の策定に当たっては、複数部局の連携を図り実行性の高い計画とするため、庁内アンケート等により各部局から寄せられた意見も取り入れながら作成します。

所管	部局間連携	計画内に盛り込んでほしい事項
交通安全対策担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全講習会や街頭キャンペーンでの公共交通に関する広報等により利用促進に寄与 ・免許返納者への支援を計画中 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動の利便性向上と社会参加の促進、子育て世帯の移動の利便性向上に向けた交通安全の確保
新小岩街づくり担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会への公共交通の利用促進等及び説明 	
金町街づくり担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・DXによるより分かりやすい案内表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバリアフリー化
立石駅北街づくり担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・京成立石駅周辺再開発による交通結節点化 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺での自転車の押し歩きの推奨
高砂・鉄道立体担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会への公共交通の利用促進等及び説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが利用しやすいユニバーサルデザインへの考慮、新たな移動（交通）手段の導入検討
道路建設課	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路整備に合わせたバス停移設時の事業者や沿線住民との調整、スケジュール等の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規路線のバスベイ等を道路整備と一体的に整備
公園課	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクル&バスライドやシェアサイクルポートの提供 ・交通公園での交通安全教室やキャンペーンの実施 ・高齢者や子育て世帯の外出目的とした公園PR 	
健康推進都市担当課		<ul style="list-style-type: none"> ・移動利便性や快適性向上による健康活動の促進
文化国際課	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向け生活ガイドへの公共交通利用情報の掲載・指定管理者事業や区事業での普及啓発(チラシ配布等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人区民も利用しやすい公共交通になるような施策(例：交通案内アプリ等でやさしい日本語・多言語対応する)
高齢者支援課		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の移動手段の確保に向けた自動運転移動サービスの導入 ・サポートカー限定免許の制度（令和4年5月施行）の適切な運用など、運転に不安のある高齢者等の移動自立のための交通手段の確保

素案へ反映

技術革新の視点から見た現況・課題

○ICTや自動運転・MaaSなど最先端技術の進展

- ・公共交通分野においても、ICTの活用や自動運転・MaaS*といった技術革新が進んでいることから、今後の導入可能性も鑑みながら計画を策定する必要があります。
- ・SDGsや地球温暖化防止等の社会課題に対応するため、EV車両や水素、燃料電池車両など、環境に配慮した車両の導入を推進していく必要があります。

*MaaS・・・複数の移動サービス（バスやシェアサイクル、レンタカー等）を一つのサービスとして捉え、それぞれの交通サービスをシームレスに利用できるようにするコンセプト。



図 自動運転技術の発展



図 環境に配慮した車両の導入



図 日本版MaaSの仕組み

計画の概要

- 計画の区域：葛飾区の全域
- 計画の期間：令和8～12年度までの5年間
- 計画の対象：鉄道・バス・タクシー等の公共交通を基本としつつ、自転車、徒歩などについても考慮する

現況・課題など

区民・利用者アンケート

- 時刻表やルートの分かりにくさ、運行本数が路線バス利用の障壁
- きめ細かなバス路線や、定時運行を重視する傾向
- 駅周辺の駐輪場拡充の要望
- 鉄道と他の交通機関との乗り継ぎ改善の要望
- 運賃がタクシー利用の障壁
- バス事業者の運転手不足解消に向けた支援を求める要望
- リアルタイムの情報提供強化の要望

公共交通とまちづくりの現況

- 南北方向の鉄道が不足・路線バスが幹線交通として機能
- 平坦な地形から、多くの区民が自転車を利用
- 新小岩、金町、立石の3駅周辺で再開発が進行
- 都市計画道路の整備率(71.5%)
- 自転車通行空間の整備状況（区道）（約20km）
- シェアサイクルポートの設置（公共施設11か所、民間施設99か所）
- 若年層人口が増加傾向、将来的な高齢化の進展
- 外国人人口が増加傾向、インバウンド対応の必要性

社会情勢

- バス利用者数の減少・路線バス事業者の乗務員不足による減便
- 交通政策基本法や地域交通法の要請を踏まえた、交通サービス維持への自治体の積極的な関与
- 庁内アンケートで各部署から寄せられた意見等

技術革新

- ICTや自動運転・MaaSなど最先端技術の進展

基本的な方針

区民（利用者）、交通事業者、区が協働し、区内を移動するあらゆる人にとって「わかりやすく・利用しやすい公共交通網」を目指します

目標

目標① 鉄道駅間をつなぐ幹線交通（南北交通）のサービス向上

施策（イメージ案）

- 新金線旅客化・鉄道の建設促進
- 路線バスの利便性、定時性、速達性、快適性の向上など

目標② 地域・利用者に寄り添った生活交通の維持・確保

- 既存バス路線の維持・確保
- 地域乗合ワゴンさくら
- 地域主体交通（グリーンスローモビリティ）
- 小型車両活用デマンド交通
- 企業送迎車両活用

目標③ 駅周辺及び道路空間の再構築に合わせた多様な交通サービスの展開・共存

- 都市施設の整備に合わせた路線検討と交通結節機能の強化
- 自転車走行空間、駐輪場の整備
- サイクル&バスライドの整備
- シェアサイクルの推進
- 観光交通の検討

目標④ 官民の連携・共創による利用者拡大と交通環境整備

- バス事業者の運転手不足に対する支援
- 運行情報表示器や路線図など公共交通の情報提供拡充
- 高齢者向けサービス検討（免許返納支援、健康ポイント等）
- 子育て世帯向けサービス検討（マタニティバス等）
- まちづくり・福祉等の関連部局と交通部局の連携

目標⑤ ICTや新技術を活用した利便性向上や生産性向上

- オープンデータ化の推進（GTFS）
- 総合的な情報発信の推進（検索、デジタルサイネージ）
- 交通データを活用した運行改善・評価
- 環境配慮車両、新モビリティ、自動運転の情報収集・活用検討

骨子案に対する葛飾区議会からのご意見

葛飾区議会からのご意見

- ・公共交通のPRを様々なネットワークを通じてより積極的に行うべき。
- ・自転車の安全な利用を促進する取組も記載すべき。
- ・電動キックボードなど新しい交通手段の適正な活用など、交通安全の取組も記載すべき。

素案へ反映